

二十四年度

決算特別委員会 Q&A

総務部

Q 財政力指数と市税が落ち込んだ理由と今後の見通しは。

A 市税が1億2千万円余減少したことにより、財政力指数が下がった。今後の見通しは、固定資産税が土地価格の下落により減少する見込みであり厳しい見込み。

Q 裁判訴訟の費用はいくらか。

A 宮川ニコイの土地が32万4千円、戸市の山林が171万2千円、旧起し太鼓会館が83万3千円である。

Q 消火栓のないところの対策は。

A 消火栓や防火水槽の整備或いは水利を考えて防火に備える。

市民福祉部

Q 子育て支援交付金の1558万3千円はどういうものに使われているか。

A 乳児家庭全戸訪問、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、ファミリーサポート

トセンター事業等を使用している。

Q 増島保育園の指定管理料9263万円の中身はどういうものか。

A 国基準の措置費で未満児や年少児、年齢に応じた単価により、人数を掛けた金額及び市単独の加配保育士の人件費等を管理料として、支出している。

Q 飛騨地域は脳梗塞など脳血管障害が多いと聞くがその指導はどうか。

A 高血圧者に対し個別指導を中心に行っている。



保健師による個別指導の様子

教育委員会

Q 全国学力テストの結果、

飛騨市の場合はどうか。

A 全国平均である。

Q スクールカウンセラーは、何名か。時間給はいくらか。

A 6名依頼している。時間当たり5千円である。

Q 清流国体の波及効果は。

A 宿泊者が増加して経済効果はあった。市民のおもてなしに感激された方の反響に期待したい。

企画商工観光部

Q 観光サイトのリニューアルが行われた。アクセス数との集客数アップの連動はあるのか。

A アクセス数の増加、ページ滞在時間の増加。スマホでの現地での情報収集が増加している。

Q 田舎暮らし、空き家紹介事業の成果は。

A 名古屋2回、東京1回開催。数名の参加者があった。

Q 飛騨市の情報ケーブルからの電波障害はあるのか。

A 幹線は光ケーブルで漏れない。同軸ケーブルも被覆が厚いので漏れない。

環境水道部

Q 可燃ごみ手数料。予算と比べて結果はどうか。

A 可燃ごみ手数料100万円増。分別の徹底を推進していく。

Q 資源ごみ売却収入1200万円。単価がいいのか。

A 単価見積もりの入札で高くなっている。資源ごみの盗難はない。

Q 水道事業全般で石綿管使用があるが、取替えの計画は。

A 配管図から調査して入れ替えをしていく計画。

Q 水道料金を高い方に統一したが、値下げすることは考えないのか。

A 会計を統合するときに再検討する。

農林部

Q 歳入の農林水産手数料が予算より4割少ないが原因は。

A 家畜の人工授精が減少した。

Q 青年就農給付金。品種や実績、成果は。

A 5名に給付。新規就農から5年間。4名はトマト、1名は露地野菜。

Q 間伐材利用のベンチの希望者への配布は十分か。

A 飛騨市産の間伐材使用。緑の祭り参加校に配布した。

Q 吉城コンボへの機械の貸与から売り払い。単価の算定は。

A 平成11年取得。これまで無償貸与。購入価格約466万円。3社から見積を取り、売却価格を決定した。

基盤整備部

Q 丹生川ダムが完成。豪雨の影響はどうか。

A 完成後の調査は行われていないが、効果があったと思われる。

Q 克雪住宅補助事業。全件補助できたのか。

A 99件申請があり、全て補助できている。

Q 除雪予算が補正で7000万円あった。適正な額か。

A 1回の除雪出動で1000万円かかる。7回分として算定した。



稼働中のロータリー除雪車

二十五年度補正予算 予算特別委員会 Q&A

総務部

Q マイマイガ300万円の委託料の内容は。

A グランド、学校、保育園など市有施設の卵塊の除去を高所作業車の使用も必要であり業者に委託するもの。

消防本部

Q 消防救急デジタル無線4億7千2百万円は、高額であるがその理由は。

A 消防デジタル無線と、平成28年までに防災行政無線（移動系）を整備することが条件となっている。

市民福祉部

Q 「子ども・子育て会議」の設置にかかるアンケートの対象と範囲は。

A 0歳から小学4年生の親を対象に約1500人全員にアンケートを実施する。

教育委員会

Q 埋蔵文化財発掘の補正理由は。

A 個人住宅の建築により、急遽補正するものである。

病院管理室

Q 看護師の募集は何か。基本給はいくらか。

A 3名募集する。初任給は、月額18万500円、20年勤務で約30万円である。

環境水道部

Q クリーンセンターの燃料代の増加分は、高騰によるものか。

A 燃料の使用量の増加分。前は1炉運転。現在は2炉運転による影響。

Q リサイクルセンターが一極集中する。中継点の検討はどうなっているか。



敷設される下水道マンホール

A 一般廃棄物収集業者と相談して検討を行う。

Q 下水道事業の進捗率は。

A 24年度末で91・37%の普及率。古川は太江のみ。神岡は市街地が終盤。29年度までに完了したい。

Q 下水道事業、寺林・梨ヶ根地区の進捗は。

A 寺林地区は国道の登坂車線工事との調整を図りながら進める計画。

農林部

Q 有機農業の取組み2件あるが、方向性は。

A 本人が直接農政局に申請。市も全面的に協力している。

Q こだわり農業と有機農業の違いは。

A 有機農業は国庫補助事業。こだわり農業は、飛騨市単独の補助事業。

Q 農業先進地視察。重点は何か。

A 農業支援センターの先進地、ほうれん草のハウス水耕栽培、とも補償制度、耕作放棄地対策や農地バンクの視察。

Q 補助は原則2分の1以内となっているが、3分の2とか80%超えるものもある。どうなっているのか。

A 内容を審査し、個々の補助金で制定している要綱に従って決定している。

企画商工観光部

Q 指定管理のコンサルタント。どういったところか。

A 企画提案のプロポーザル方式で行う。

Q 合併10周年記念のプレミアム商品券。具体的な時期と業種は。

A 実行委員会で具体的に決まる。商店や車等前回と同様を計画。

Q 商品券購入に上限などは。

A 1人10万円まで。モラルを持つてもらい購入していただきたい。

Q 3世代同居補助金。300万円増額だが内容は。

A 現在27件交付決定した。新築2件、リフォーム25件。追加は11件分を予定。

Q 発明の補助金。具体的な内容は。

A 古川町で寒冷地における浴室の改良。断熱効果、対流効果。

Q JAXA宇宙学校ひだ、対象者は。

A 小4から中3までの生徒と保護者。200名

Q 旧神岡鉄道安全対策事業700万円。今後の予定は。

A 市として現時点で安全化の判断はできない。調査結果を見て安全が確認できれば河川占有も含め検討する。



旧神岡鉄道 第一高原川橋

基盤整備部

Q 県営土地改良団体連合会とはどんな組織か。

A 土地改良区、市町村が会員。土地改良事業に関する支援・調査研究等。

Q 飛騨地鶏への道路新設調査。事業予定は。

A 国道41号からの取り付け、220m、幅員5m、車道4m。

Q 消雪ノズル交換、どこに分か。

A 市道井上線のノズル36個を交換する。

